【南城市立知念中学校学校通信】発行　校長：吉田順太

令和８年度 南城市立知念中学校《aikantaishi》

愛汗大志

20 号
令和8年 11 月 24 日

Respect Effort and Be Ambitious !

◆ 聞得大君就任儀礼「御新下り」に今年も参加！！

１１月１４日（土）、世界遺産である斎場御嶽で開催される「御新下り」に昨年に引き続き、本校から、１，２年生を中心に男女１３名の生徒を参加させていただきました。

本校では、総合的な学習の中で「知念ふるさと学習」に取り組み、「地域とつながり、地域を愛し、新しい価値観を生み出す児童・生徒の育成」を目標に掲げ、知念地域の歴史、自然文化、伝統芸能、伝統行事等を学んでいます。とくに２年生は、「中学生歴史ガイド養成プロジェクト」のコースがあり、世界遺産である、斎場御嶽に来られる国内外の方々に実際にガイドとして斎場御嶽を紹介していく活動を行っています。その中で、かつて琉球王国時代に斎場御嶽で執り行われていた聞得大君就任儀礼「御新下り」に参加し体験することは、今後、斎場御嶽ガイドをするにあたって、この地の歴史や意義を知る大変貴重な体験となり、ガイドにも説得力が増すことと思います。

今回もこのような貴重な機会を与えてくださいました、南城市商工観光課に心より感謝いたします。今後も引き続き、知念地域の子供たちにこのような体験の機会を与えていただき、地域を愛し地域を誇りに思う子供たちを増やしていけるよう、よろしくお願いいたします。

聞得大君 御新下り



「御新下り（おあらおり）」とは、琉球王国時代、斎場御嶽でおこなわれた「聞得大君（きこえおおきみ）」の就任儀礼です。「聞得大君」とは、琉球王国の「おなり神」として国の祭祀をまとめる重要な役割を持った最高の神職で王族の女性が就任しました。













